

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019年 10月 10日

(提出先)
横浜市長

住所 東京都大田区羽田1-1-3

氏名 ワタミファーム&エナジー株式会社
代表取締役 小出 浩平

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	ワタミファーム&エナジー株式会社 代表取締役 小出 浩平	
主たる事業所の所在地	東京都大田区羽田1-1-3	
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	ワタミファーム&エナジー株式会社では、ワタミグループ100%の子会社であり、以下の3つの事業を行っています。 1. 再生可能エネルギー事業 風力発電・太陽光設備の開発・運転管理、その他再生可能エネルギーの開発など。 2. 小売電気事業 食品工場、店舗、学校、オフィスビル等の他、自治体施設、一般家庭等にも電気を供給しております。弊社は、需要家PPSとして省エネに取り組んで参りました。グループの外食店舗で「でんきの見える化システム」を2004年7月～約300店舗に導入し、運用改善や設備改善に活用してきました	
担当部署 連絡先	事業所名	ワタミファーム&エナジー株式会社
	部署名	エナジー事業本部
	電話番号	03-5737-7104
	E-mail	y_mitamura@watami.net

2 対象年度

提出年度 (当年度) 2019年度

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

弊社は、再生可能エネルギーの普及と省エネルギーの取組を通して、地球温暖化抑制に貢献していきます。2018年3月に、ワタミグループがRE100宣言を行い、グループ全体で再生可能エネルギー100%を2050年までに実現いたします。
現在は、自グループの食品加工センター5工場のルーフソーラーの接続、秋田県にかほ市の風力発電の接続、厚真・むかわのメガソーラー電源の調達を行っており、再生可能エネルギー（FIT電気）比率を継続できています。

4 推進体制

<p>1. 発電事業に係る推進体制 電源は旧一般電気事業者の常時バックアップとJEPXの調達軸になっていますが、昨年度より再エネの買取を強化し、秋田県にかほ市の風力発電、厚真・むかわのメガソーラーによる太陽光発電の電源を調達しています。</p> <p>2. その他の温暖化対策に係る推進体制 自グループの環境活動を推進してきた経験より、需要家に対して「見える化」データによる省エネサービスを提供しています。</p> <p>3. SDGs推進の宣言による推進体制 自グループで正式にSDGs推進を表明したことにより、グループに供給する再エネの役割が非常に大きなものとなりました。弊社では試験的に自グループ1店舗に再エネ100%の供給を行うことで、今後の再エネメニューの足掛かりを作成しております。今後は全店舗再エネ100%を目指した調達・供給の計画を作成していきます。</p>

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
公表方法		

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
公表方法	弊社ホームページ内 (http://www.watami-ecof.co.jp/denki/how/)にて公表中	

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

<p>弊社は、エネルギーマネジメントシステムを活用した省エネルギー推進の取組を通して、地球温暖化対策を講じていきます。</p> <p>法人の需要家様へは、電力の使用状況を分析した「3ヶ月レポート」を作成し、訪問して電力の使用状況の報告と、省エネの提案を致します。</p> <p>一般家庭向け電力をご利用の需要家様へは、前日の電気使用データを活用したEメールサービスを提供しております。</p>		
	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 対応不可 <input checked="" type="radio"/> 一部対応可
RE100に対応した電気の供給	備考	2019年度より、自グループのモデル施設に再エネ100%電気を供給中です。グループでRE100宣言をしていることから、上記施設の実績を踏まえて、再エネ100%施設を拡大していく予定となっております。

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	年度	2019年度	2030年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数			0.499	0.400
把握率 (%)			—	—
調整後排出係数			0.500	0.400
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置のための取組	<p>今後につきましてはJEPXの割合を減らし、相対電源による調達を主軸にすることで、安定した料金と係数の管理を行うことを目指しております。 相対電源につきましては、通常の火力発電のみならず、再エネの電源買取も積極的に推進し、係数の低減と環境にやさしいでんきとしてPRしていく所存でございます。</p>			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	年度	2019年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量			50600
市内			1925

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—		—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)				
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)				
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量				

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

2018年までは太陽光と風力の電源買取を行っており、今後も一定量の電源を継続して調達致します。また、今年度は供給エリア内での小水力発電の電源を調達予定であり、再エネ率向上を目指します。さらに、今年度の計画にはございませんが、将来的にバイオマス発電の電源も調達の計画があり、様々な再エネを調達することで、多様なメニューとリスク分散を実施できる見込みでございます。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

特にございません。